

秋田市教育委員会  
会 議 録

令和2年12月定例会

秋田市教育委員会令和2年12月定例会会議録

- 1 日 時 令和2年12月24日(木曜日)  
午後3時30分～午後4時30分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員  
教育委員  
教育委員
- 4 出席職員 教育次長  
教育次長  
総務課長  
学事課長  
学校教育課長  
教職員室長  
教育研究所長  
学校適正配置推進室長  
生涯学習室長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
学校教育課長補佐  
学校適正配置推進室副参事  
生涯学習室長補佐  
生涯学習室副参事  
総務課主席主査  
総務課主席主査  
総務課主席主査  
学校教育課主席主査  
学校教育課主査  
教職員室主査  
総務課主任  
総務課主事

## 5 議 題

### 【付議案件】

議案第18号 秋田市学校運営協議会規則の一部を改正する件

### 【協議事項】

(1) 令和2年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

### 【教育長等の報告】

(1) 令和2年11月市議会定例会の審議状況について

(2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

(3) 「第6次秋田市社会教育中期計画」および「第3次秋田市子ども読書活動推進計画」の策定について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【令和2年11月定例会会議録の承認】

令和2年11月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回の会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【付議案件】

議案第18号 秋田市学校運営協議会規則の一部を改正する件

教育長 議案第18号「秋田市学校運営協議会規則の一部を改正する件」について、事務局から説明願う。

学校教育課長 (資料に基づき説明)

委員 地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されたとのことだが、具体的にはどのように変わったのか。

学校教育課長 改正前には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の3に非常勤講師の報酬等に関する条文があったが、会計年度任用職員制度の施行により、非常勤講師という身分が無くなったため、条文が削除され、条ずれとなったものである。

※ 議案第18号については、全員賛成により、議決された。

## 【協議事項】

### (1) 令和2年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

教育長 協議事項(1)「令和2年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について」、事務局から説明願う。

教職員室長 (資料に基づき説明)

委員 今年度は、コロナ禍にもかかわらず、対応をしていただき、感謝している。

新型コロナウイルス感染症に関し、教員の対応や、子どもたちが自ら進んで感染防止策に取り組んでいる姿を見て感心した。ただ、教員のコロナ関連の業務量が増えている様子が見られ、多忙化防止にも取り組まなければならない中だと思うが、仕方の無いことと思うので、教員の皆様には頭の下がる思いである。

I C T教育や英語教育等、教育環境が変わっていることに伴い、さまざまな対応をしている様子があった。昨年度まではあまりなかったタブレット端末を用いた授業が見られ、食育についても、小学校低学年から中学校までさまざまな授業の中で意欲的に取り組んでいると感じた。

今回、初めてすくうる・みらいに行ったが、重要な事業であると感じたとともに、さまざまな子どもたちを大切にしているということがわかった。

教員数について、全体で見ると、そこまで男女に差はないと感じるが、管理職については、女性が少ない印象であった。普段の生活で女性にかかる負担が大きく、管理職になる意欲のある女性が少ないように感じるので、学校だけではなく、社会全体として、男女関係なくさまざまなことを担っていける環境を作ることが大切と思う。「お茶出しは女性の仕事」という考え方を改める等、細かい部分から男女差を無くして行ってほしい。

教職員室長 秋田市の小中学校の管理職のうち、女性の割合は14%である。女性の方が能力が低いというわけではなく、女性の働く環境の問題であると捉えているので、ご意見を参考に、今後、働きやすい環境づくりに努めていきたい。

委員 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校経営が当初の計画通りに進まなかったと思うが、その中でも、

教員はよく頑張っていると感じた。年度当初の一斉休校により約1か月遅れで学校が始まったが、教員は、授業の遅れを取り戻す努力をしながらも児童生徒のほんの少しの変化等にも気配りをしていた。こうした努力のおかげで、児童生徒は落ち着いた学校生活を送ることができていたのだと思う。

新型コロナウイルス感染症について、学校でクラスターが起きないように、今後しばらくは、十分な感染対策を行いながらの学校生活になり、教員にはさまざまな面でご苦労をかけると思うが、どうかよろしくお願ひしたい。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、PTA活動、運動会および学習発表会等、保護者や地域のかたがたとのコミュニケーションの場である学校行事が例年どおり行われていないので、学校報、メールおよびホームページ等を活用し、情報共有をすることも必要ではないか。

また、ICT教育については、学校ごとの懇談でも毎回のように話題に上がり、それだけ重要であるのだと感じた。文部科学省も、1人1台のタブレット活用に関する支援をするため「StuDXStyle」という特設サイト立ち上げるなど環境整備に努めているようである。教員は、手探りの状態であり不安もあると思うが、次世代の教育のあり方を見据え、授業の方法を工夫していったほしい。

最後に、教員の頑張りに感謝したい。

教育長  
学事課長

ICT教育について、ハード面の整備状況はどうか。

タブレット端末については、今月から学校に納品を行っている。また、LAN工事の進捗率は90%以上となっており、順調に進んでおり、ハード面については、年度内に整備が完了する予定である。加えて、ICT支援員については、端末の初期設定を行ってもらうため、6月補正において6人分の予算措置をし、10月に契約を締結した。1月4日から順次設定を行ってもらう予定である。

教育長

ICT教育に係る教職員研修については、どのような状況か。

教育研究所長

来年度の教職員研修については、重点の1つにICT活用のスキルの向上を目指した研修の充実を位置づけ、教育研究所で行う研修の新設や、各校を訪問しての研修などを

予定している。

委員

今年度は、コロナ禍における学校の様子を見ることができた。各校とも、夏季休業日の授業回復期間を十分に活用し、夏季休業日明けには、当初の計画どおり授業を進められるようになったとのことであった。また、さまざまな暑さ対策により、熱中症も無く過ごすことができたという話も聞いた。

小学校英語の教科化については、ALTが効果的に機能し、授業に活気が見られた。小学校5、6年生の英語の能力が高まっていると感じた。

学校司書について、各校からは、能力が高いとの評価を得ている。学校の図書室を見たが、子どもたちが本に親しめるように整備されている印象であった。

たくさんのかたがたによって学習環境が維持されていると感じた。マスクをしながらでも話し合い活動をするなど、学習指導および生徒指導ともにコロナ禍でも変わらずよくしていこうという姿勢が見られた。

学校司書や部活動支援員については、少しずつ増員してほしいが、予算も絡むので、まずは現状維持をお願いしたい。

教育長

事務局として、学校司書配置の効果について、どう考えているか。

学校教育課長

学校の図書室や各学級の図書コーナーを見ると、ここ数年の変化が分かる。ただ整理されているだけではなく、子どもたちの読書意欲をかき立てるような装飾をしていたり、直接学級に出向いて本を紹介するという取組も多くなっており、学校司書の活躍場面が広がっているように感じる。

教育長

子どもたちの学習内容を把握し、学びが広がるような本を集めてくれている学校司書もいる。

委員

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問できるか不安だったが、2～3人で衛生面に注意して訪問した。

今年度は、例年と比べると、ICT教育の環境整備や新型コロナウイルス感染症への対応など、大きな変革のあった年であったと思う。ICT教育とコロナ対応については、校長との懇談の中でも話題になることが多かった。マスク

をし、体温を測って学校に通う子どもたちや、授業の遅れを取り戻すために工夫する教員の姿を実際に見ることができ、定例会の議論の材料になる重要な機会であると感じた。

訪問の日程について、今年度は秋に集中していたが、一斉休校による授業遅れがある中で学校に負担をかけないためにも、この日程は妥当であったと思う。

校長の経営説明について、「基本的な生活習慣の確立、あいさつ等の励行等」を学校経営の重点とした学校が昨年度に比べて10校増えているが、一斉休校期間に児童生徒が生活リズムを崩してしまったことに対する配慮と考えられ、新型コロナウイルス感染症は学校経営にも影響を与えているのだと改めて実感した。

コロナ対応について、各校で、子どもの数に応じて検温の仕方を工夫している様子が見られた。また、コロナ対応のための予算で買った物品を見たが、網戸や空気清浄機など、各校の実状に応じてさまざまなものを購入しており、うまく活用できていると感じた。

すくうる・みらいについて、以前1度訪問したことがあるが、今年は、実際に通っている児童生徒がどのような形で授業を受けているのか見ることができ、保護者も安心して預けられる施設であると思った。

来年も引き続きよろしくお願ひしたい。

教育長

今年度は、そもそも学校訪問が実施できるかどうかというところから議論しなければならなかった。

来年度の日程について、何か見通しはあるか。

教職員室長

昨年度は、7月～8月の間で2～3回実施していたが、今年度は実施できなかった。現在、各校でしっかり感染防止策が行われていると思うので、現状程度の感染拡大状況であれば、来年度の学校訪問は、昨年度と同様の日程で実施できるのではないかと考えている。

教育長

学校には、教育委員訪問、指導主事訪問および中央教育事務所長訪問という三大訪問があり、来年度、教育委員訪問以外の2つの訪問がどのような日程で行われるかという点も考慮する必要があるだろう。

期日を分散して行うことができれば、夏季休業日の前後と秋の児童生徒の様子を比較できるので、できるだけその

ように実施したい。

今年度は、コロナ対応の中での学校訪問であったが、学校は、感染防止のためによく頑張っていると感じた。朝の検温を忘れた児童生徒の検温場所を用意したり、学校での検温の際に熱があった場合、保健室以外で待機させたりなどの工夫が見られたほか、感染防止の取組が児童生徒主体で行われていたことも印象的であった。苦しい中ではあるが、今回の経験が、児童生徒の成長のために少しでもプラスになればと思う。

また、コロナ対応にあたり、多くの学校が学校行事等の教育活動の見直しを行っていた。その中で、学校運営協議会については、学校によって開催の有無に差があると感じた。学校運営協議会の開催については一概には言えないが、学校にできることとできないことがあり、地域のかたがたの力を借りる必要がある場合や、地域のかたがたが力を借りたいと思う場合もあるだろう。

学校運営協議会に関する情報共有の機会として、コミュニティ・スクール連絡協議会の開催状況はどうか。

学校教育課長 昨年度開催したコミュニティ・スクール連絡協議会では、各校の管理職と学校運営協議会の代表2名が集まり情報交換をしたが、今年度については、3密回避のため中止とした。

各校の学校運営協議会の実施内容や実施回数については、別途調査を行う予定である。

教育長 コロナ対応について、学校運営協議会を効果的に活用できる良い例があれば、市内各校で共有してほしい。

※ 協議事項(1)については、以上のとおり終了した。

#### 【教育長等の報告】

(1) 令和2年11月市議会定例会の審議状況について

教育長 報告(1)「令和2年11月市議会定例会の審議状況について」、事務局から説明願う。

総務課長 (資料に基づき説明)



※ 令和2年11月市議会定例会の審議状況については、以上のとおり終了した。

(2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(2)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

教育長 北部地域ブロック協議会については、小委員会の案で進めるといふ方向性が出されたということか。

学校適正配置推進室長 そのとおりである。小委員会を2回開催し、中学校5校の組合せについて協議したが、事務局が示した案で進めるといふ方向性になり、第2段階へ進めることとなった。

教育長 土崎中学校と将軍野中学校という組合せは、現在の生徒数を考えるとかなり規模が大きくなると感じるが、どうか。

学校適正配置推進室長 現段階で2校を統合すると、かなり規模が大きくなるが、まずはこの組合せ自体を検討し、時期については、将来の子どもの数を見据え、改めて検討する予定である。

教育長 総合教育会議の際にも話が出たが、現状ではなく、将来を見据えて統合を検討していくという方向性が、地域のかたがたや保護者にも伝わっているように感じる。

また、上新城小学校と飯島南小学校については、統合まであと1年となっている。

委員 協議が一番進んでいるのは、上新城小学校と飯島南小学校の統合についてか。

教育長 そのとおりである。この2校については、令和4年4月に統合予定である。

学校適正配置推進室長 令和3年4月には、上新城小学校の閉校記念式典のための実行委員会を設立する予定である。

教育長 秋田西中学校、豊岩中学校および下浜中学校の統合は、令和5年4月の予定で間違いはないか。

学校適正配置推進室長 そのとおりである。

教育長 閉校記念式典は、どのような内容を予定しているか。大枠があれば、教えてほしい。

学校適正配置推進室長 上新城小学校の閉校記念式典については、令和4年3月を予定している。内容については、地域のかたがたや校長

先生、その他教職員にも出席していただき、事務局も参加の上で、思い出に残るような事業を行いたいと考えている。

教育長 閉校になる小中学校は、地域のかたがたや卒業生にとって大切な思い出の場所であると思うので、式典の内容についても十分に配慮した上で協議を進めてほしい。

※ 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等については、以上のとおり終了した。

(3) 「第6次秋田市社会教育中期計画」および「第3次秋田市子ども読書活動推進計画」の策定について

教育長 報告(3)「『第6次秋田市社会教育中期計画』および『第3次秋田市子ども読書活動推進計画』の策定について」、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

教育長 次期秋田市教育ビジョンは令和4年度からとなっているが、次期秋田市社会教育中期計画も令和4年度からとなっており、秋田市教育ビジョンの策定状況を踏まえながら進めるという認識でよいか。

生涯学習室長 そのとおりである。

教育長 秋田市教育ビジョンを上位計画として持つ秋田市社会教育中期計画という位置づけなので、年度を統一して策定を行うとのことである。大変だと思うが、よろしく願います。

委員 社会教育は、学校教育に比べて期間が長い。私も社会教育に携わってきたが、社会教育には、年齢や状況に応じてさまざまなことに対応する力を身につけさせるという使命があると思うので、しっかりとした計画を立ててほしい。

委員 教育委員会7月定例会において教科書採択を行ったが、小中学校の教科書には、生きていく上で大切なことが詰まっていると感じた。例えば、私の年代は、技術科と家庭科が分かれており、私は技術科を学んでいないので、そのような方のためにも、社会教育の一環として、小中学校の教科書を学ぶ機会があっても良いのではないか。

教育長 昔の教科書とは違う内容になっているため、高齢者のか

たがたにとっても必要な情報が載っている場合もあるだろう。

委員 教科書を使って勉強するという意識ではなく、今の小中学生が習っていることを覗くという感覚で見てもためになるのではないか。

教育長 デジタル化についての情報が載っていることもあるので、このような取組も考えてみてほしい。

※ 「第6次秋田市社会教育中期計画」および「第3次秋田市子ども読書活動推進計画」の策定については、以上のとおり終了した。

#### 【その他、事務局から】

教育研究所長 令和3年度の全国学力・学習状況調査について連絡する。例年、次年度の実施要領の公表が10月上旬から中旬に行われることから、調査への参加については、教育委員会12月定例会で協議している。

しかし、令和3年度の調査については、実施日が例年より1か月ほど遅く、5月27日（木曜日）に予定されており、現在も実施要領が公表されていないため、今年度については、1月以降の教育委員会定例会で諮りたいと考えている。

#### 【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 1月定例会の日程についてお知らせする。1月定例会については、第4木曜日である1月28日（木曜日）午後3時30分からを予定している。また、2月17日（水曜日）開催の令和2年度市町村教育委員会オンライン協議会（文部科学省主催）に高堂委員、石田委員および加藤委員が参加する予定だが、1月定例会後にその勉強会を行う予定である。勉強会は、午後4時30分から1時間程度を予定している。日程調整のほど、よろしく願います。

教育長 1月定例会は、1月28日（木曜日）午後3時30分、開会予定とする。委員の皆様、よろしく願います。

午後4時30分閉会